



堀田 晋一朗

Jリーグサンダーズは年明けから3週連続のホームゲーム。1週目の5、6日、広島市中区の広島グリーンアリーナでFC東京、V川崎と対戦した。広島市での開催は年に1度。多くのファンに会場いただいた。チームカラーのグリーンに染まった会場で選手は熱の入



「がんばろう！広島」のTシャツを着て観客にあいさつする選手



地元ロード まず連勝

ったプレーを披露した。

今年初戦のFC東京戦はやや硬さも見られたが、徐々にエンジンがかかり3-1で勝利。V川崎戦は3-0でストレート勝ちし、連勝を飾ることができた。昨年12月に全日本選手権を制した自信から、安定した試合運びができていく。

さて広島大会では、サンダーズのメンバーとなってプレーを疑似体験できるVR（バーチャルリアリティ）仮想現実）コーナーや、身長2メートル超のトーマス・エドガー選手や小野寺太志選手らの等身大写真をバックに写真撮影ができるブースなどを設けた。子どもたちの歓声は何よりうれしかった。

5日の始球式では広島東洋カープの中村奨成捕手がジャンピングサーブを披露してくれた。廿日市出身で地元星である中村捕手の活躍を心から願っている。6日は広島市の松井一実市長にお願いした。地域密着はVリーグの理念でもある。今後もホームタウンと連携して活性化に向けた活動を展開していきたい。

ホームゲーム2週目は12、13日、福山市のローズアリーナに豊田合成と堺を迎える。連勝で3位に浮上した勢いそのまま臨みたい。（Jリーグマネジャー）